

第16回 中央通り再編関係者調整会議 会議録

■ 日時 令和8年7月22日（水） 16時00分から18時00分

■ 場所 四日市商工会議所 3階 大会議室

■ 出席者

（学識者）

有賀隆座長
松本幸正委員
村山顕人委員

（交通関係者）

牧野修幸氏（代理）（Web 会議にて出席）、池田善法氏（代理）（Web 会議にて出席）、増田浩士氏、三輪直樹氏、中村良寛氏、水谷佳広氏（代理）

（市民・商工関係者・大規模権利者）

山路和良氏、木室康弘氏（代理）（Web 会議にて出席）、北岡泰爾氏、秋田和伸氏（代理）、佐野貴信氏、切中義憲氏（Web 会議にて出席）、吉田健氏（Web 会議にて出席）、伊藤秀明氏

（行政）

松元清悟氏（代理）、大吉雄人氏、後藤吾市氏（代理）（Web 会議にて出席）、荒木秀訓氏

（オブザーバー）

三重県警察本部交通部交通規制課 松澤隼人（代理）
国土交通省都市局街路交通施設課街路交通施設安全対策官 高濱康亘氏（Web 会議にて出席）
国土交通省中部地方整備局建政部都市整備課長 藤田剛氏（Web 会議にて出席）
国土交通省中部地方整備局道路部道路計画課長 北川洋平氏（Web 会議にて出席）
国土交通省中部運輸局交通政策部交通企画課 飯田景子氏（代理）（Web 会議にて出席）
国土交通省中部運輸局三重運輸支局長 小出和仁氏

■ 議事

1. 第15回中央通り再編関係者調整会議の振り返り
2. 関係者との協議・調整に伴う対応
3. 工事の進捗と見通し
4. デザインワーキンググループの報告
5. 近鉄四日市駅バスターミナル検討部会の報告
6. 今後の進め方

■ 資料

資料1：事項書

資料2：出席者名簿

資料3：席次表

資料4：第16回中央通り再編関係者調整会議資料

資料5：第13回近鉄四日市駅バスターミナル検討部会資料

■ 内容

<座長>

皆さまこんにちは。座長の早稲田大学有賀でございます。本日、夏真っ盛りの中、駅前から商工会議所まで額に汗して現場工事に従事される方々に頭が下がる思いです。そのような中お集まりいただいた皆様、web 会議でご参加の方々にも感謝申し上げます。前回から時間が空きましたが、この間、現場も進んできております。西も含めて立体的に様々な、複雑な動線を効果的にさばく施設ができ始めており、部分的に供用開始になり、少しずつ姿かたちが見えてきたと思います。もとより、中央通り再整備の一番の目的は中部圏の中核都市である四日市の中心部が、将来のリニア開通を見通し、より市民や都市活動が集まりやすい玄関口を作るという考えや、都市の循環（サーキュレーション）を支えること、郊外の住宅系市街地とも機能的にネットワークしていき、将来的には港ともつなげていく一大事業として長年関わってきております。この間様々な関係者との調整をしていただき、交通動線や中央通り全体の配置、空間利用・土地利用は一体不可分のものなので、将来的に中央通りにできうるであろう様々な空間配置や規模・しつらえをデザインワーキングで議論してきました。直前にバスタの検討部会がありましたが、その場でバスタ事業の運営などについても報告いただきました。非常に変数の多い中、その調整をこの会議でさせていただくということで、それぞれのお立場から忌憚のないご意見を頂けたらと思います。

それでは次第に沿って事務局からご説明よろしく願いいたします。

【1. 第15回中央通り再編関係者調整会議の振り返り、関係者との協議・調整に伴う対応、工事の進捗と見通し】

事務局から資料説明が行われた後、各構成員より質問・意見等をうかがった。

<座長>

ご説明ありがとうございます。それではご意見・ご質問がございましたら、お願いいたします。

<A氏>

資料4の14ページですが、下の方に㊸と書いてあるのが東海道でしょうか。

<事務局>

その通りです。

<A氏>

こちらの図の右上に県警の意見で「歩行者横断部が周辺の構造物の死角となるため、横断位置を再検討されたい」とあるが、この位置に横断歩道はつくのか、つかないのかどちらでしょうか。

<事務局>

横断歩道がなくなるということではありません。ここには国道1号をアンダーパスで渡る階段施設の上屋・腰壁がありまして、それが歩行者横断の死角を作ってしまうので、横断歩道の位置をもう少し国道側に設けてほしいという意見が県警からあったということでございます。

<座長>

特に他にないようですので、もしあれば後ほどいただければと思います。それでは次第に沿って次に進めていただければと思います。ご説明よろしく願いします。

【2. デザインワーキンググループの報告】

事務局から資料説明が行われた後、各構成員より質問・意見等をうかがった。

<座長>

ご説明ありがとうございます。それではご意見・ご質問がございましたら、お願いいたします。

<A氏>

国道1号から東の方に駐輪場を2箇所設けているが、国道1号から西側の押し歩きになる区間には駐輪場はあるのか、あるのであれば1箇所か2箇所かどちらでしょうか。

<事務局>

資料4の14ページをご覧ください。側道の横断帯から西に向かって自転車動線が伸びているところにくすの木パーキングの入口の施設があり、それに沿って駐輪場を設ける予定としています。こちらにまとまったスペースがあり、現時点で50台弱の駐輪スペースを設けていきたいと考えております。商店街に用のある方はこちらで自転車を降りて、商店街へ歩いていただくこととなります。バスタ内はこちらの1箇所となっております。

<A氏>

円弧デッキの近くに駐輪場は設置できないのでしょうか。

<事務局>

あすなろう鉄道駅の南側に市営の駐輪場が立地しているので、そちらに駐輪して駅の方に向かっていただけたらと考えています。

<A氏>

住民としては、高架下の駐輪場は高校生たちの駐輪場という感覚があり、あまり使用しません。円弧デッキあたりに駐輪場があれば利用しやすいという思いがあるが、作る意思はないということでしょうか。

<事務局>

ご意見ありがとうございます。駅前ということで、なかなかエリアが限られております。近鉄百貨店やふれあいモールにもそれぞれ駐輪場があるので、そちらの方をご利用いただけたらというのが今回の考えです。よろしくお願いいたします。

<B氏>

資料4の25ページの図から、円弧デッキの下に現在バスターミナルやタクシーの乗場になっている箇所がありますが、この絵ではキッチンカーが少し止まっているだけで魅力のないスペースのように見えます。西側の駅前広場の半分は市の持ち物で、半分は近鉄の持ち物と聞いているが、もう少し有効活用できる使い方はあるのでしょうか。

<事務局>

ご質問ありがとうございます。駅西広場について、基本計画の前の基本構想の段階から四日市の玄関口となるような待合交流機能を位置付けてきたところであります。その中で、待合交流空間をどのようにしつらえていくかは検討していきたいところでありますけれども、近鉄様のご所有地というところがございます。今後近鉄様とご協議しながら進めさせていただければと考えていますが、四日市市としても賑わいや交流を作っていきたいと要望しながら近鉄様にご協力をいただくより他ないと考えております。

今後近鉄様と四日市市の方で役割分担をして、近鉄駅前広場の持ち分を整理していくことになるが、駅西広場に関しては2分の1ずつ市と近鉄が持つのではなく、全体を近鉄様が所有することになります。

今回円弧デッキを作るということで、デッキが架かる部分の下を市の方にいただき、残りの歩道を除く部分は近鉄さんの土地として、近鉄さんの方に今後の検討をしていただくことになっていきます。

<B氏>

そこへタクシー乗り場や自家用車の出入りは考えられるのでしょうか。

<事務局>

西広場の北側の部分にはタクシー乗り場や一部のバス乗り場が残ると聞いています。残りの中央

通りに沿った側は賑わい空間として位置付けており、それに沿って近鉄さんの方で計画いただくことになっています。

<B氏>

中央通りの完成と西広場の完成は一致しないのですね。

<事務局>

工程の関係がございまして、バスタができないとバス乗り場が西口から移動しない、その後でないと近鉄さんの方で西口の工事ができないので、そういったことで若干の工程のズレがでてきているのはやむを得ないと考えております。

<B氏>

駅前の非常に目立つところでございますので、できるだけ市民が行き来しやすい良い広場になるように、行政としても積極的に働きかけをしていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

<座長>

web 参加されている C 氏、D 氏何かご発言有りますでしょうか。

<C氏>

西側広場については鉄道もちろんそうですが、ホールディングスの方とも連携しながら計画していくという形になります。

<D氏>

西側広場については鉄道所有地とのことで、我々のほうで今後考えていく必要があると考えています。昨今の工事費高騰もありタイミングを見計らいながらというのがありますけれども、事務局である四日市市様と共に賑わいに貢献できるよう今後検討していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

【3. 近鉄四日市駅バスターミナル検討部会の報告】

三重河川国道事務所から資料説明が行われた後、各構成員より質問・意見等をうかがった。

<座長>

ご説明ありがとうございます。部会長からもご発言をいただこうと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

<E氏>

規約の名簿に関しましては民間事業者の取り消しということでご承認いただいております。経緯についてはご報告の通りです。

デザインワーキングの内容については、照明、建物の窓・扉・壁の位置ということになります。おそらくここで重要になってきますのは、バスの待ち列との兼ね合いということになります。この辺りも交通事業者を確認いただき問題ないにご了承いただいております。

それから運営事業は、コンセプション方式で行い、選定については別の委員会を設置して進めるということで、結果としては前回と同じ方法で仕切り直しということになります。

部会の中で出た意見としましては、コンセプションの公募をする時にバスタの範囲が募集対象になり、エリアとしては、資料5の24ページの特定期間停留施設の範囲で明確化されておりますが、一方でポテンシャルとしては中央通り全体の再編の中でこの場所のポテンシャルが決まってくると思うので、公募の際には、参考資料として中央通り全体の再編の資料をご提供いただきながら、その中でバスタの事業としての魅力が分かるようにしていただきたいという意見がありましたので、今後、国の方でご検討いただけることになっております。

<座長>

ありがとうございます。それではご意見・ご質問がございましたら、お願いいたします。

<F氏>

私はバスターミナル検討部会に入っておりませんので、今回のご説明をいただいてよく理解できました。

色々パースが出ていてとても良いデザインになってきたかと思いますが、バス乗り場を示す番号・行き先等、色々文字が出てくるかと思いますが、その文字のデザインも重要と考えています。サイン計画について想定があれば教えていただきたいです。

デザインワーキングの資料に戻りますが、沿道開発や自転車ネットワークを中心市街地だけでなく郊外にも広げていくというのが中長期的には重要であると思っております。これだけ中心市街地の価値が上がると、周辺の開発ポテンシャルも高まっており、ビル整備等も想定以上のスピードで進んでいると感じております。中央通り再編事業で市役所の皆様も忙しいのは分かっておりますが、うまくスタッフも増やしながら、沿道の土地利用についても検討していただきたいです。せっかく道路を綺麗にしても周りが駐車場になってしまうということではいけませんので、立派な自転車道を周りとうつつなげるかについても、少し落ち着いた段階で、沿道の土地利用の検討がスタートできればいいのかなと思います。

<事務局>

サイン計画については検討しておりまして、次回のご提示できるタイミングに諮らせていただければと思います。

<座長>

先行してバスタ以外の中央通り部分のサインはフォントや内容等検討はしてきていますので、そのあたりもレファレンスして、うまく調和するようご検討ください。E氏の後半の質問について事務局からお願いします。

<事務局>

幸いにも沿道開発も質の高いものができてきていると感じております。その中で官民連携が重要と感じておりまして、空間の仕組みづくりにも取り組んでいきます。

そうした中で、できれば沿道の皆さんも含めて何らかの体制がつくれて議論ができることを目指せればと考えております。今日お集まりの皆様もその一員となりますので、その際はぜひご協力賜りたいと存じます。

中央通りはチャレンジングな自転車道作りに取り組んでおります。自転車だけでなくパーソナルモビリティ、シェアサイクル等、どこまで普及させていくかの大きな議論がこれから必要と認識しております。

道路に関しては市道だけでなく国道・県道があり中々垣根があると実態としては感じていますが、少しでも議論が進むよう何らかのアクションをしていければと考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

<座長>

バスタ部会の内容については先ほどの検討部会にてご議論いただいたところではありますが、改めてご発言があれば聞きしておきたいと思いますがいかがでしょうか。

<G氏>

国さん、四日市市さんとは普段会議以外の場でもご意見させていただき、可能な範囲で汲んでいただいているので、これからもより良いバスターミナルになるよう連携して取り組んでまいります。ただ、バス事業者として気がかりなのは、工事がいつまでかかるのかというところです。お客様には仮設のバス停でご不便おかけしているの、明らかにできるようになったら早めに教えていただきたいと思っております。

<H氏>

G氏おっしゃられてたとおり、今はお客様の利便性・安全性が悪い状況ですので、早く利便性を

良くしたいです。あと安全性についても、今は狭い場所に仮設バス停がありますので、これも早く解決していただきたいです。また、バスターミナルが完成したときの利便性・安全性を重視して、今後も検討部会で発言させていただければと思います。

<I 氏>

利用者目線を至極大切にしていきたい。今のご説明の中では乗降場のサイン等が分かりやすくなれば良いなと感じました。

<J 氏>

協会として特に付け足すことはありませんが、情報共有しかりとっていただきたいと存じます。

<K 氏>

この会議体はハード整備について議論する会議体ではありますが、その後によどのように賑わいを形成していくか、仕掛けていくことについては会議体・協議体が特に動いていないと思うので、そろそろそのあたりについても動き出していくべきではないかと感じました。

<事務局>

実際に空間の使い方を社会実験してみる等そういったものも視野に入れながら整備に取り組んでいるというところがあります。官民連携で運営組織を作っていこうと一つの大きな方向性を出しております。いま K 氏からご提案あったように、実際に組成に向けてそろそろ足を踏み出していかねばならないと事務局としても認識しております。これから完成・運営に向けてまだ2, 3年間ほど時間がありますので、社会実験の中で具体的にどのような官民連携ができるかを試しながら、その取り組み自体が組織づくりにつながるようなものにしたいと考えております。その中では関係者の皆様にも積極的にご参加いただきたいと考えておりますので、引き続きご協力をお願いいたします。

<L 氏>

立場的にインフラ整備としての利便性やバスタを含めて、市民の方々が来てみたい、ワクワクしたいというのを情報発信していきたい。いま現状が、やはり車社会になっており、近鉄の高架下で送り迎えをしていたり、バスターミナルに来るために車で来なければならない等の課題があり、せっかくバスタができて、来訪する車で渋滞が起こってしまうのではないかななどの市民目線の意見を聞いて部会で議論していければと思います。いつ出来上がるのか等の情報発信も担っていきたいと思っております。

<M 氏>

資料4の33ページの三滝通りから東の方面、JR 四日市駅までがどのように活用されていくのかが気になりました。また、皆さんおっしゃっていただいているように、出来上がった後のことをそろそろ検討の必要があるのかなと思いました。

<N 氏>

駅との連絡通路も完成しまして、お客様も当店の2階南側の往来が増え、賑わいが出てきたと感じております。ただし、まだ1番街の方に直接通り抜けができませんので、このあたりは9月以降、お客様の動向を見ながら当店としても対応していきたいと考えております。

また、現在、道路も工事途中でございますので、道路の案内を聞かれることが多いが、従業員一同しっかり対応していきたいと考えております。看板が分かりにくかったりアナウンスが追いついていない実情もございますので、看板の表記等、四日市市様にもしっかり対応いただきたいと考えております。よろしくお願いいたします。

<O 氏>

よんまるテラスが近鉄百貨店内の公共連絡通路とつながったということで、これについては四日市さんのリーダーシップでできたと考えております。今後円弧デッキの工事が始まりますので、近鉄四日市駅と百貨店で賑わいが創出されることとなるため、これからも協力していきたいと考え

ております。よろしくお願いします。

<P氏>

今後も特に自転車道等新しい試みについて交通の安全と円滑を図りながら、道路管理者と連携して、話し合っていきたいと考えております。

<Q氏>

警察は基本的に交通管理者であります。道路管理者である市さんとは車の両輪となります。交通管理者として市と常に連携して両輪を果たしていき、全国に誇れるようなものになるよう全力を尽くしていきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

<R氏>

バス事業・タクシー事業を所管しているのですが、十分に交通事業者と協議して進めていただきたい。サインについて、せっかく整備をするので駅を出たところから分かりやすいサインをしっかりと整備していただきたいのと、外国人の来訪者も増えているので多言語表記にしていきたいと思います。

<S氏>

バスタ部会の報告にあった中で、完成・運営開始の時期について開示要望がありましたが、早期に完了できるよう努めていきたいと考えております。再公募をするとなると、改めて運営開始の見通しも重要になってきますので、そういった情報もお示しできるよう進めてまいりたいと思います。また、お示しできる段階になれば、このような場や関係皆様には共有させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

<T氏>

本日はお忙しい中ご議論をいただきありがとうございます。中央通り再編に関しては、全線にわたり工事で大変ご不便をおかけしておりますが、関係者の皆様のご理解ご協力に感謝申し上げます。

駅前では、近鉄四日市駅とあすなろう四日市駅を結ぶよんまるテラス連絡通路が6月に完成し、一番街への連絡通路についても9月に通っていただけるようになります。国で進めていただいているバスタについても、連絡通路からつながるテラス部分が立ち上がり、国道1号東側の中央通り公園整備が本格化してくる状況です。

ニワミチ空間の全貌が姿を現してくる段階で、市民の方の期待もだんだん膨れ上がってきていると認識しています。本市といたしましても新図書館とホール機能を併せ持つ施設の整備、大学の誘致等、地域の価値を一層高めていくための施策を合わせて実施していく予定でございます。市をあげての戦後最大の再開発プロジェクトでございますので、引き続き関係者の皆様にご支援、ご協力をいただけますようお願い申し上げます。

また委員の皆様からこの施設を有効活用していくためのソフト施策に是非着手すべき、というご意見をいただき、重要性を再認識しているところでございますので、全庁を挙げて取り組んでいきたいと考えております。引き続きよろしくお願いいたします。

<U氏>

三重県としましては三重県内のまちづくりについて色々アドバイス等させていただいておりますが、資料に視察対応とある通り、今後三重県で開催する各種会議の際には四日市が全国的に注目を浴びているのでその際には視察対応お願いできますでしょうか。よろしくお願いいたします。

<V氏>

各施設関係もコストダウンに努めつつも市民の皆様に親しまれるまちづくりの検討を進めていただいているなど感じました。四日市市様の大学の計画も進んでいくと思いますので、J R四日市周辺の整備計画も順番に進んでいくと思います。その中で、コストダウンに努めながら、周辺の計画にも調和した良い空間が作れるように関係者の皆様にお力添えいただきたいと思いますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

<W 氏>

多くの調整をしっかりとやっているのがすごいと思いますので、引き続きこの形で進めていただければよいと思います。昨年災害があり地下駐車場でご苦労されていることは理解しており、国も協力していければと思います。

1点コメントだけさせていただくと、全体のデザインコントロールをしっかりとやっていければ良いと感じており、現在のこの優れたデザインを継続していければという思いで、市直営の事業や国直轄の事業はデザインがしっかり担保されているが、今後整備主体が行政でない Park-PFI のところ等のデザイン担保が重要と感じています。事業者が決まってから行政が後出しじゃんけんでデザインについてあれこれ言うのは一番よくないので、公募時点で、今までの議論や目標、こういった座組でデザインをしっかりと調整するというをあらかじめ知らせてしておくことが大事かと思います。村山先生のおっしゃるように、そのさらに先には沿道建築も含めたガイドライン的なデザインコントロールも重要だと思います。今優れたデザインが実現されようとしているので、そのクオリティが担保できるような座組を検討していただくのが良いと感じました。

<X 氏>

非常にまちづくりが進んでいて中部地整管内のいろんな自治体の参考になるのではないかと感じながら聞いておりました。ソフトに関しても引き続き進めていただくとともに、市民の方々の機運醸成も合わせて進めていただければより良い効果が出てくるのではないかと思います。

<Y 氏>

バスタ事業を進めておりますが、中央通り再編事業との連携が重要と考えておりますのでより一層の連携をしていければと考えております。まちづくりは地元の皆様にどれだけ喜んでいただけるかが重要と考えておりますので、本日お集まりの関係者の皆様にもお知恵をいただきながら調整させていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

<A 氏>

バスタ部会資料5の24ページの事業範囲の図の下の「施設」のところに「公益・防災の併用施設」とあるが防災についてどのように進めていくのかを教えてください。

<事務局>

防災の観点では四日市市の地域防災計画に対してバスタは避難所・避難場所には位置づいておりませんので、避難施設ではございません。一方で、大規模な災害が起きた時に鉄道が通れなくなるとバスの代替輸送が必要になりますので、そういった意味でバスタも防災機能を位置付けております。建物の中には情報発信の機能（デジタルサイネージ）を持っておりますので、将来の管理運営事業者さまがどのように情報提供いただくかという話がありますが、そういったところが防災機能の一つになります。

<A 氏>

帰宅困難者用の防災拠点、ということで良いでしょうか。地域の方々も入れるものでしょうか。

<事務局>

バスタの役割としては皆さまが指定の避難所に行くために、誘導するための情報発信機能を担うと考えております。バスタ自体に避難してくるということは想定しておりません。

<事務局>

今回の整備の中で、中央通りとしては中央通り公園等で帰宅困難者が一時的に滞在できるような避難場所としての利用を想定しております。一方で、バスタとしては、先ほど国から説明があったように、鉄道が止まった際にバスで代替輸送する機能を考えると、災害時の避難所としてバスタを指定するのは難しい状況です。ただ、災害の際に市民に情報を提供しないといけませんので、例えば、建物1には観光情報の発信等の機能があり、一部市でもその機能を持つような計画になっており、実際に運営する事業者と連携しながら情報伝達することを想定しています。建物7にも情報伝達機能を持たせる計画になっていますが、そちらも市が関わりながら緊急時に防災情報を伝えていくといった役割を果たしていくことを考えています。バスタに来た方が困らずに避難できたり、所

定の避難場所に行けるよう市も関わっていきたいと思います。

<Z氏>

これからもご協力してよりよいものを作っていただけるよう応援していきたいと思います。

<座長>

それでは最後に今後の進め方について事務局より説明をお願いします。

【4. 今後の進め方】

事務局から資料説明が行われた後、各構成員より質問・意見等を募ったが特に声は上がらなかった。

【5. 全体を通して】

会議全体を通して、各構成員より質問・意見等をうかがった。

<E氏>

研究室に四日市出身の学生が2名おり、先日こちらの事業について意見をもらったのですが、一人は中央通り再編に理解がありとても楽しみにしていると言ってくれたが、もう一人は市の西部に住んでいる学生で、あまり理解がなく「なぜこのような事業をしているのか？」ということを書かれてしまいました。市民の方々がこの事業をどれぐらい認識、期待してくれているのか心配になりました。そういった意味で、もっとプロモーションしても良いと感じています。市民の方々に期待していただくことで、四日市だけでなく三重県、全国、インバウンドで外国の方々にも注目されるようなプロモーションが必要だと思います。昨今 SNS や YouTube 等色々なメディアが使える、そういった機運の醸成はしやすいので、この事業により市民の生活が変わるということをしっかり PR していただきたいと思います。今後控えている景観形成戦略・利活用戦略グラフィック版の公表等を機に、ぜひ情報発信と機運醸成にも力を入れていただきたいと思います。

<F氏>

今日はありがとうございました。本日の議論の中心はインフラや建物の施設計画、それに関わる動線についてだったと思いますが、このほかに本事業はスマートシティ事業とか、道路を大幅に改変して公園にしているということでもかなり先駆的な事業を行っており、日本の都市計画の歴史に残る一大事業だと思います。私の知り合いの多くもこの事業に興味を持っております。調整は大変だと思いますが、今後も皆様のご協力のもと、しっかり進めていただければと思います。よろしくお願いいたします。

<座長>

昨今、都市経営とまちづくりが一体不可分になってきていると認識しています。計画段階から事業実施を含めて、竣工後の供用、エリマネ、利活用を一気通貫してやっていく、仕組みづくりをしていくということを考えると、そういう意味ではオール四日市の理解と応援をいただく必要があると思いますし、港、まち、郊外の里の部分をオール四日市で物理的につなぐということもありますし、公共交通ネットワークでつなぐ、風景、景観でつなぐということもありますが、様々な意味でもつないでいくというシンボリックな事業であり、都市計画としても重要な事業であります。

地域、都市を作っているのは市民でもあり民間事業者の皆さんでもあるので、そういう観点からぜひ各関係者の皆様からご協力とご支援を頂ければと思いますし、利活用については様々な工夫をしていく必要があるので、それについても知恵を拝借できればと思います。

デュラビリティ（耐久性）を持ち合わせたインフラを形成していく一方で、環境の変化に対応できる可変的なものにしなければならないという二面性をハード・ソフトで担保しなければならない。デザインワーキングやバスタ検討部会、その他専門の部会で鋭意ご議論いただいていますので、今回のように調整会議の場でも色々ご意見いただければと思います。それでは議題は以上となりますので、事務局へお返しします。

<事務局>

委員、関係者の皆様におかれましては、長時間に渡って活発な意見交換をいただきありがとうございました。次回、第17回の調整会議は令和9年3月ごろを予定しております。将来の四日市市の玄関口の整備に向けた中央通り再編事業がより良いものとなるよう事務局として引き続き精一杯取り組んでまいりますので、今後とも皆様からのお力添えをいただけますよう、どうぞよろしくお願いいたします。以上をもちまして、本日の会議を終了させていただきます。皆様ありがとうございました。

—以上—